

Weekly Report

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
 長：稲葉 徹
 幹 事：大嶽 達郎
 クラブ広報委員長：鈴木 健司
 例 会 日：毎週木曜日 PM12:30～
 会 場：ヒルトン名古屋



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

事 務 局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
 T E L：052-211-3803
 F A X：052-211-2623
 M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1817回例会

～職業奉仕月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2018年1月18日(木) 晴れ 第25回

司 会：山口哲司会場副委員長
 斉 唱：我等の生業
 ゲ ス ト：米山奨学生 金瑩さん
 ビ ジ タ ー：愛知ロータリーEクラブ 稲熊茂男さん

会長挨拶

稲葉徹会長

皆さん、こんにちは。今日は「国外転出時課税制度」についてお話ししたいと思います。国外転出時課税制度は、平成27年産税制改正において創設されたもの(平成27年7月1日より施行)で、多額の有価証券等を保有している人が国外に転出する場合やそれらの有価証券等を国外に居住するものが贈与を受けたり相続した場合に、所有する有価証券が譲渡されたものとみなして含み益に譲渡所得課税等がされるという制度です。



この制度は、近年のキャピタルゲイン非課税国(シンガポール、香港、スイスなど)への移住者が大巾に増加したため、平成27年7月より、時価1億円以上の有価証券等を所有する者が海外に国外転出(国内に住所及び居所を有しないこととなること)する場合など一定の場合には、その有価証券の含み益に対して所得税を課税するというものです。この一定の場合には、非居住者に対して有価証券等を相続・贈与する場合をいいます。国税庁のホームページによれば、国外転出時に次の①及び②のいずれにも該当する居住者が、国外転出時課税の対象となるとされています。

① 所有している次の「対象資産」②の価格の合計額が1億円以上であること。

②「対象資産」… 有価証券(株式、投資信託等)、未決済の信用取引、デリバティブ取引等

② 原則として国外転出をする日前10年以内において国内に5年を超えて住所又は居所を有していること。

但し、国外転出時課税制度で申告し申告期限までに所得税を納付された方が、5円以内に、国外転出時課税制度の適用があった対象資産のうち譲渡等がなく帰国した場合には更生請求による課税の取消しの還付を受けとることができますが、5年を超えて海外に居住していると、課税の取り消しはできなくなるので注意が必要です。

又、有価証券等を相続・贈与により取得した非居住者が、5年以内に譲渡せずに帰国等した場合も課税は取り消され、納付した所得税は還付を受けとることができます。

この外、一定の手続を行うことにより、5年間(届出により最長10年間)の納税猶予を受ける制度もありますので、今後老後を海外で過ごすと考えている株式等(当然自社株も入ります)をお持ちの方は事前によく検討されておく必要があります。

海外へ移住するのはいろいろな要因がありますが、相続税対策などで多額の資産を保有する方が移住したり、あるいは事実上の理由で海外へ移らなければならない方々は、この制度に注意していただいた方がいいと思います。

出席報告

花井芳太郎出席委員

会員64名 出席49名(出席計算人数47名)

出席率 87.5% 1月11日は補填により86.9%

ニコボックス

花井芳太郎ニコボックス委員

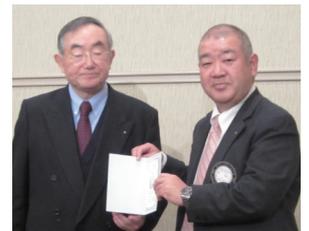
- ・初めてメイクアップに伺いました。山田さん大変お疲れ様でした。今後のご活躍を祈念いたします。 **愛知ロータリーEクラブ 稲熊茂男さん**
- ・今年よろしくお願い致します。当日は「カンパイ」のビールを飲んだ為か、転倒してごめいわくをかけました。深謝。 **高村 博三さん**
- ・1/8女房の誕生日にきれいな花、ありがとうございます。 **長坂 邦雄さん**
- ・金さん、今日の卓話よろしく申し上げます。 **堀 慎治さん**
- ・山田愛子さん永い間お世話になり有難うございました。今後も元気に頑張ってください。 **野崎 洋二さん**
- ・年末風邪をひき、年始あいさつ失礼しました。 **八木沢幹夫さん**
- ・ゴルフ部会の日程が決まりました。手帳に記入願います。 **内田 久利さん**
- ・山田さん、ありがとうございました。今後も末永くご活躍下さい。

森 裕之さん

- ・先週の土曜日、久し振りに車のタイヤがパンクしました。あわてて自分でタイヤ交換したら、腰を痛めて2日も針治療に通いました。高かつきました。 **田中 宏さん**
- ・ちょっといいことがありました。 **鈴木 淑久さん**

米山功労者表彰

堀慎治さんが第3回マルチプル米山功労者として表彰をされました。おめでとうございます。



1月誕生日おめでとう

天野 正明さん 稲葉 徹さん 村上 学さん 中野 健二さん
 牧野 智繁さん 田中 宏さん 安岡 克明さん 山口 哲司さん
 市岡 正蔵さん 岩田 修司さん 吉木 洋二さん 野崎 洋二さん

委員会・同好会報告

スキー同好会：鶴田浩さん

1月26・27・28日にかけて札幌へ5名で行って参ります。しっかりとスキーを堪能して来ますので、帰って来たら楽しかったご報告をさせていただきます。また来年はもっともっと多くの方の参加をお待ちしております。どうぞ宜しくお願いします。

幹事報告

大嶽達郎幹事

- ・本日13:40から第4回CA、第7回理事会をヒルトン名古屋4F「藤の間」にて行います。
- ・次週1月25日(木)は第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)をヒルトン名古屋4F「竹園の間」にて行います。
- ・同日17:30から第2回クラブ奉仕協議会を「日本料理 蓬萊」にて行います。

・下期会費の例会費返金について

通常例会が1回分多く請求してしまったので振込済みの方は4,400円返金します。再度請求書を送付します。

退職挨拶

事務局長 山田愛子さん

本日はこのような場でご挨拶させていただきまして、ありがとうございます。私は1月20日付にて8年10ヶ月働かせていただいた名古屋瑞穂RCを退職致します。8年10ヶ月と言うと「長かったね」と言われますが、自分では気づいたらそれぐらい経っていたという感覚です。それも、ずっと働きやすい環境で楽しく仕事ができた皆様のおかげです。本当にありがとうございました。思い返すといろいろな思い出がありました。皆様と出会ったことが一番良かったと心から思っております。毎週の例会もどんな服を着ようかから始まり、皆様に週に1回会えるのが楽しみでした。ご存知のように私はピアニストとして活動しております。演奏会の度にチケットを買ってくださったり、わざわざ時間を作って聴きにきてくださった皆様には本当に感謝しております。もっと勉強がしたくて例会も休ませていただき、海外セミナーに参加したこともありました。応援していただいて嬉しく思う反面、そうやってご迷惑をお掛けしてしまうことが非常に心苦しくなり、本当に大好きな職場でしたが退職を決意しました。いつかロータリーソングを山田愛子が弾いていたのは贅沢なことだと思ってもらえるような存在になれるようこれからも精進していきたいと思っております。これからもぜひ応援してもらえると嬉しいです。本当に皆様ありがとうございました。



分らないので、やるなら精一杯やろうと練習しました。壁を相手にしたりテーブルで練習をしたり、夢中になりました。この調子で続くと卓球選手になれるのではないかと思えた時に、ガラスで右手を怪我してしまい、病院に行くとそのまま手術を受けました。そのせいで1ヶ月程、手が使えなくなり、治った後すぐに練習を始めようとしたのですが、卓球の先生が他の場所に移るということで辞めてしまいました。私は卓球選手という夢をそのまま諦めました。

でも両親は私に対して諦めませんでした。卓球選手に向いてないなら芸術家はどうかと両親は考え、私が7歳の時に絵の勉強が始まりました。絵を描くことは好きでした。放課後や休日にも、絵を描いて楽しく過ごしました。絵の勉強が一番長く続けました。

9歳の時に、母がバイオリンの演奏曲に夢中になり、将来私に演奏してほしいと考えバイオリンの勉強をさせました。卓球と絵は自分がやりたいことだったので自発的に練習しましたが、バイオリンだけはあまり興味が湧きませんでした。バイオリン教室にいる時や先生に練習しろと言われた時だけ練習しました。帰宅後は両親に「今日は何の曲を勉強したか弾いてみて」と言われ披露していました。その時だけが家での練習時間でした。絵とバイオリンの両方を学んでいたのも、忙しい小学生時代でした。

10歳の時、実家は田舎だったのでもっと良い教育を受けるために、家族から離れ単身で転校しました。絵は辞めましたが、バイオリンはまだ続けていました。バイオリンの稽古にかかった費用は、今でも高いなと思います。でもやはり、興味がないことをしても楽しさが感じられないのでバイオリンも諦めました。転校してからは、いじめられたことはあまりありませんでしたが、悲しいことがあると両親に会いたいなと思いました。両親に会った時は、絶対に悲しいことは話さず「私は大丈夫だよ」と言って両親を安心させました。その後の中学・高校も親元を離れて学校へ通い、10代という早い時期から独立しました。

私が日本に来たのは20歳の時です。よく周りの人から「あなたは一人っ子だから日本に行って大丈夫かな、親が心配しているのではないか」と聞かれましたが、大丈夫だと答えました。10歳の時から親元を離れてもやってこれたのだから、20歳になってもきっと大丈夫だと思えました。そして両親も「あなたは正しい」と自信を与えてくれます。私がやりたいことだったらもちろん心配はしているけど、ちゃんと応援して私を支えてくれます。母はいつも「すべてのことに感謝する気持ちを持ってね」とか、「他の人の悪口を言わないでね」とか「学校を掃除するときに、他の人より多くやってもいいの、文句を言わないでね」と教えてくれる優しい人です。父はいつも寡黙で早起きしない人ですが、私のために朝ごはんを作ってくれたり、一緒にバスケットボールをやったり、酔っぱらった時に説教したり、自分のことにはお金は使わないで私と母になんでも買ってくれる人です。その両親がいるから、今の私がいると思います。両親に感謝しています。

そして、もう一つラッキーだなと思えることは、RCの奨学生に選ばれたことです。130人から私を選んで下さったRCに感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで、一緒にドイツ語を勉強した王さんとも、日本語と一緒に勉強したモモさんとも、もっと仲良くなりました。この前、堀さんと亀井さん、王さんとモモさんと私の5人で私が好きな辛い四川料理を食べました。また、私が就職活動をしている時に、堀さんと亀井さん、RCの皆様にご心配いただき、ありがとうございました。米山奨学生になれて優しくて素敵な方々と出会え、いろんな貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



卓話

米山奨学生 金壁さん

私について

皆さんと出会って、もう少しで1年になります。時が過ぎるのは早いですね。面接を受けた日は昨日のことに、まだはつきりと覚えています。

私が面接を受けたのは、2017年1月14日土曜日です。その日は大雪でした。面接で緊張していたので寒さは全然感じませんでした。面接官はどんな方なのか、厳しい質問をされたらどう答えたらいいのかと、不安と緊張で興奮していました。面接があったおかげで、私の前に面接を控えていた同じ大学の子と知り合い友達になりました。私の順番がきて中に入ると3人の面接官がいらっしゃいました。その真ん中に座っていたのが近藤雄亮さんでした。面接官は親切な方で、自分もだんだん緊張が解れました。1番印象に残っている質問は、日本に来てから1番辛いことと、1番楽しいことは何かという質問です。辛いことは院生の入学試験の時で、楽しいことは日本に来て日本人の友達ができ自分のことを応援してもらったり、助けてもらったりした時だと答えました。面接を終えると、もしかして受かるかもしれないと期待もしましたが、やはり少し心配でした。実家に戻り面接の結果を待っていると、ある日学校から通知が届き、「あなたは奨学生として採用されました。おめでとうございます。」と書いてありました。私は嬉しくて大きな声で「お母ちゃん、こっち来て」と言うと、母は「奨学生に合格したの?」と言い両親も喜んでくれました。

私の20年間の人生をみると、自分はラッキーじゃないと思っていました。小学生時代は、「頭がいいね、難しい問題を解いても他の子より速い」と先生たちに言われましたが、それは休日に勉強をしていたからです。休日に外出せず家にこもり、自分一人で勉強して過ごしてきました。確かに、努力しなくてもいい成績を取れる優秀な人もいますが、私のような普通の人だとある程度の努力が必要なので、自分のことを頭がいいとは思えません。

でも、自分がラッキーだと思えることが2つあります。

1つ目は、両親の子になれたことです。両親はお金持ちではありませんが、私の英才教育のために時間とお金を掛けてくれました。私が3歳の時に、唐詩の勉強が始まりました。自分ではよく覚えていませんが母と祖母の話によると、ある日、母と山を登っていた時に、私が「千里の目を極めんと欲すれば、更にかる一層の楼」と言ったそうです。母はその状況に合う詩をこの歳の子が言うなんてと驚き、この事は周りの誰もが知るようになりました。

5歳の時に、卓球の勉強をしました。卓球が好きかどうかはその時はまだ

例会のご案内

- 今週の行事 1月25日(木) 第4回クラブフォーラム
(中間決算と組織)
- 次週の卓話 2月1日(木) 新会員イニシエーションスピーチ
会員卓話：本多誠之さん
- 次々週行事 2月6日(火) 4RC合同例会
場 所：マリオットアソシアホテル
時 間：18:00~20:00